

会長あいさつ



ご来賓の方々を始め、皆様のおかげで、本日、成人式を迎えました。会員の皆様おめでとう！
成人になったからには、なお一層の研鑽と努力をして行かねばならないとの責任を痛感しています。

福岡北ロータリークラブは、1983年（昭和58年）6月、福岡城西ロータリークラブのスポンサーによってチャーターメンバー50名で誕生致しました。長いようで短かった今日、早いもので、創立20周年を迎えることが出来ました。

これは歴代ガバナーを始め、多くの方々のご指導、ご支援のおかげと存じます。また、会員諸兄の「手作りのクラブを造ろう」を合言葉とし、その目標に向かって邁進して来た結果だと思っています。この記念すべき創立20周年という晴れがましい時に、年度会長を務めさせて頂き、はなはだ光栄に存ずると共に、素直にこの喜びを嘯みしめているところです。

ここ数年来、日本経済、いや世界的に経済が低迷している昨今、必然的かどうかは解りませんが、世界のロータリアンが減少していることは、真に嘆かわしいことです。

何とか、この傾向を食い止めるために、我がクラブは、明るく楽しいクラブであることをモットーとして、いろんな形でクラブの改革を進めて来ました。

更に、環境団体の方には叱られる言葉かもしれませんが、20年前の創立時のこととお許しをいただいて、我がクラブは「木を育てるより 人を育てよう」を理念として活動し、「若楠基金」なども、もうけました。本日、式典旗の入場のお手伝いをして下さったボーイスカウト福岡第14団の支援もその一つです。

成人となった今、これを新たなスタートとして、気を引きしめて、青少年育成の一助を担うつもりで、我がクラブの理念にそって、新しいテーマを掲げました。

テーマは「青少年育成 育てよう思いやりの心」です。

今後も会員一同一丸となってテーマを中心に奉仕と親睦に努めてまいりますので、ご来賓皆様方のご支援の程をよろしくお願いします。

村上 泰之